

引っ越ししたばかりの
とんこ



「保全・共存のプラットホーム」を目標に、 夏期開園がスタートします

この手紙を書いているのは4月中旬。夏期開園準備のため、一年で最も忙しい休園期間中です。

今年の夏期開園は、約9年ぶりの大型施設である「えぞひぐま館」のオープン、ホッキョクグマの子のお披露目など、自分たちも今からワクワクしています。エゾヒグマのメス・とんこの新居への引っ越しも無事に終わり、今は新居の寝室で過ごしていて、少しずつ慣らしている段階です。引っ越しは麻酔で眠らせて行うので、とんこにすると目が覚めたら「ここはどこ？」状態です。新居の寝室の檻や寝室の出入りの仕方などは「もうじゅう館」と同じ材質・形状にしていますが、新築の建物なので

生活の気配がない無機質な空間になっています。もうじゅう館では向かいの寝室にトラがいて、にぎやかでした。とんこは、母グマが駆除されて旭山動物園で暮らすことになり、子グマの頃から今までずっと、もうじゅう館で暮らしてきました。もうじゅう館では母親にもなりました。新居に住むのはとんこだけなので、とんこも戸惑っていると思います。

でも徐々にとんこ自身や飼育員の匂い、人の出入りの気配などを感じて、少しずつ落ち着ける場所になっていくはずですよ。とんこの生活空間として、まずは寝室と室内放飼場に馴染んでもらい、最後に屋外放飼場へ、という流れになります。もうじゅう館では発現する機会がなかった、よりヒグマらしい感性や行動が目覚めてくれると期待しています。今までよりもとんこが尊く見える、輝いて見える姿を想像しながら、えぞひぐま館を建てました。

今年、誕生から55年を迎える旭山動物園。「保全・共存のプラットホーム」を新たな目標に、スタートを切りたいと思います。
コロナ禍による空白の2年間で、一気に取り戻します！

旭山ピックアップ

タンチョウが来園しました

3/21に、タンチョウのオスが釧路市動物園から来園しました。本園で飼育しているメスとのお見合い期間を経て、現在は同居して展示しています。季節とともに見え方が変わるタンチョウの姿を、ぜひ観察してみてください。



なかむつ
←仲睦まじく暮らす
タンチョウ



旭山動物園をもっと楽しむ

園内イベント

詳細は決まり次第、
同園HPに掲載



SNSで 動物の情報を 随時発信中！



夏期開園日・時間

- 10/15(出)まで 9:30~17:15
 - 10/16(日)~11/3(木)
9:30~16:15
(期間中は無休。いずれも
入園は16:00まで)
- ※最新情報は、同園HPなどで確認を。
.....

【詳細】旭山動物園
(東旭川町倉沼 電36・1104)